

平成 30 年度

長野市各財産区特別会計

決算審査意見書

松代財産区

豊栄財産区

西寺尾本郷財産区

今井財産区

信級財産区

日原財産区

長野市監査委員

元監査第71号
令和元年9月30日

長野市各財産区
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員 鈴木栄一
同 小澤輝彦
同 松木茂盛
同 高野正晴

平成30年度長野市各財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成30年度長野市各財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
	松代財産区特別会計	2
	豊栄財産区特別会計	4
	西寺尾本郷財産区特別会計	6
	今井財産区特別会計	8
	信級財産区特別会計	10
	日原財産区特別会計	12
第 5	意 見	14

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

平成 30 年度長野市各財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の対象

1 平成 30 年度長野市各財産区特別会計の決算

松代財産区特別会計
豊栄財産区特別会計
西寺尾本郷財産区特別会計
今井財産区特別会計
信級財産区特別会計
日原財産区特別会計

上記各財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書
実質収支に関する調書
財産に関する調書

第 2 審査の期間

令和元年 7 月 3 日から 9 月 18 日まで

第 3 審査の方法

審査に当たっては、各財産区特別会計の決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第 4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

松代財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,906,909 円に対する歳出決算額は 984,049 円で、歳入歳出差引残額 922,860 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	844,000	839,914	839,914	0	0	99.5	100.0
繰越金	474,000	1,066,990	1,066,990	0	0	225.1	100.0
繰入金	600,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	5	5	0	0	0.3	100.0
合計	1,920,000	1,906,909	1,906,909	0	0	99.3	100.0
29年度	1,960,000	1,970,802	1,970,802	0	0	100.6	100.0
比較増減	△40,000	△63,893	△63,893	0	0	△1.3 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	98.0	96.8	96.8	—	—	—	—

収入済額は 1,906,909 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 1,066,990 円(構成比率 56.0%)及び財産収入 839,914 円(同 44.0%)である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	1,890,000	984,049	0	905,951	52.1
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合計	1,920,000	984,049	0	935,951	51.3
29年度	1,960,000	903,812	0	1,056,188	46.1
比較増減	△40,000	80,237	0	△120,237	5.2ポイント
前年度対比	98.0	108.9	—	88.6	—

支出済額は 984,049 円で、予算現額に対して 51.3%の執行率である。
 支出済額は、全額総務費である。
 不用額は 935,951 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	3,411,494	0	3,411,494	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	61,466	714	62,180	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	311,200	0	311,200
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	411,200	0	411,200

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	23,559,000	0	23,559,000

豊栄財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 244,033 円に対する歳出決算額は 20,069 円で、歳入歳出差引残額 223,964 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	20,000	20,839	20,839	0	0	104.2	100.0
繰越金	210,000	223,192	223,192	0	0	106.3	100.0
分担金及び負担金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合 計	233,000	244,033	244,033	0	0	104.7	100.0
29年度	238,000	237,125	237,125	0	0	99.6	100.0
比較増減	△5,000	6,908	6,908	0	0	5.1 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	97.9	102.9	102.9	—	—	—	—

収入済額は 244,033 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。
収入済額の主なものは、繰越金 223,192 円(構成比率 91.5%)である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	183,000	20,069	0	162,931	11.0
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	233,000	20,069	0	212,931	8.6
29年度	238,000	13,933	0	224,067	5.9
比較増減	△5,000	6,136	0	△11,136	2.7ポイント
前年度対比	97.9	144.0	—	95.0	—

支出済額は 20,069 円で、予算現額に対して 8.6%の執行率である。
 支出済額は、全額総務費である。
 不用額は 212,931 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	225,771	0	225,771	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	18,821	229	19,050	—	—	—

西寺尾本郷財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 577,238 円に対する歳出決算額は 374,162 円で、歳入歳出差引残額 203,076 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	31,000	30,533	30,533	0	0	98.5	100.0
繰越金	197,000	206,703	206,703	0	0	104.9	100.0
繰入金	340,000	340,000	340,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合 計	570,000	577,238	577,238	0	0	101.3	100.0
29年度	570,000	587,808	587,808	0	0	103.1	100.0
比較増減	0	△10,570	△10,570	0	0	△1.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	100.0	98.2	98.2	—	—	—	—

収入済額は 577,238 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰入金 340,000 円（構成比率 58.9%）である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	540,000	374,162	0	165,838	69.3
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合 計	570,000	374,162	0	195,838	65.6
29年度	570,000	381,105	0	188,895	66.9
比較増減	0	△6,943	0	6,943	△1.3ポイント
前年度対比	100.0	98.2	—	103.7	—

支出済額は 374,162 円で、予算現額に対して 65.6%の執行率である。
 支出済額は、全額総務費である。
 不用額は 195,838 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地及び建物の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
原野(畑)	20,132	0	20,132	0	0	0

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	5,607,000	△340,000	5,267,000

今井財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 737,094 円に対する歳出決算額は 615,272 円で、歳入歳出差引残額 121,822 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	183,000	180,657	180,657	0	0	98.7	100.0
繰越金	157,000	157,437	157,437	0	0	100.3	100.0
繰入金	399,000	399,000	399,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	0.0	—
合 計	741,000	737,094	737,094	0	0	99.5	100.0
29年度	684,000	669,986	669,986	0	0	98.0	100.0
比較増減	57,000	67,108	67,108	0	0	1.5 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	108.3	110.0	110.0	—	—	—	—

収入済額は 737,094 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰入金 399,000 円（構成比率 54.1%）である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	731,000	615,272	0	115,728	84.2
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合 計	741,000	615,272	0	125,728	83.0
29年度	684,000	512,549	0	171,451	74.9
比較増減	57,000	102,723	0	△45,723	8.1ポイント
前年度対比	108.3	120.0	—	73.3	—

支出済額は 615,272 円で、予算現額に対して 83.0%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

不用額は 125,728 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	730,586	0	730,586	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	14,757	110	14,867	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	27,900	0	27,900

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	6,497,000	△399,000	6,098,000

信級財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 735,636 円に対する歳出決算額は 58,301 円で、歳入歳出差引残額 677,335 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 納 率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	300,100	300,100	0	0	10,003.3	100.0
繰越金	200,000	435,532	435,532	0	0	217.8	100.0
諸収入	2,000	4	4	0	0	0.2	100.0
合 計	205,000	735,636	735,636	0	0	358.8	100.0
29年度	205,000	491,617	491,617	0	0	239.8	100.0
比較増減	0	244,019	244,019	0	0	119.0 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	100.0	149.6	149.6	—	—	—	—

収入済額は 735,636 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 435,532 円（構成比率 59.2%）である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	155,000	58,301	0	96,699	37.6
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	205,000	58,301	0	146,699	28.4
29年度	205,000	56,085	0	148,915	27.4
比較増減	0	2,216	0	△2,216	1.0ポイント
前年度対比	100.0	104.0	—	98.5	—

支出済額は 58,301 円で、予算現額に対して 28.4%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

不用額は 146,699 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	367,950.00	0	367,950.00	0	0	0
原 野	157,940.00	0	157,940.00	0	0	0
保 安 林	41,475.00	0	41,475.00	0	0	0
雑 種 地	297.00	0	297.00	0	0	0
宅 地	39.66	0	39.66	0	0	0
田	36.00	0	36.00	0	0	0
畑	416.00	0	416.00	0	0	0
合 計	568,153.66	0	568,153.66	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	11,354.8	△505.7	10,849.1	—	—	—

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	1,000,000	0	1,000,000

日原財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 214,071 円に対する歳出決算額は 39,101 円で、歳入歳出差引残額 174,970 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収納率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	80	80	0	0	2.7	100.0
繰越金	116,000	213,989	213,989	0	0	184.5	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合 計	121,000	214,071	214,071	0	0	176.9	100.0
29年度	121,000	248,879	248,879	0	0	205.7	100.0
比較増減	0	△34,808	△34,808	0	0	△28.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	100.0	86.0	86.0	—	—	—	—

収入済額は 214,071 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 213,989 円（構成比率 100.0%）である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	111,000	39,101	0	71,899	35.2
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合 計	121,000	39,101	0	81,899	32.3
29年度	121,000	34,890	0	86,110	28.8
比較増減	0	4,211	0	△4,211	3.5ポイント
前年度対比	100.0	112.1	—	95.1	—

支出済額は 39,101 円で、予算現額に対して 32.3%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

不用額は 81,899 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	475,652	0	475,652	0	0	0
原 野	33,759	0	33,759	0	0	0
保 安 林	21,844	0	21,844	0	0	0
雑 種 地	224	0	224	0	0	0
畑	228	0	228	0	0	0
合 計	531,707	0	531,707	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	12,305.5	103.0	12,408.5	—	—	—

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	800,000	0	800,000

第5 意見

歳入では、前年度繰越金や基金繰入金の割合が多くを占め、財産運用に伴う収入の割合が低くなっている。

財産区本来の財産収入の確保について研究するとともに、財産収入が見込めない場合には、財産区そのものの在り方について、引き続き検討されたい。

